

## 群馬県の現状

群馬県のおよそ3分の2を占める丘陵山岳地帯では、集中豪雨などにより自然災害が発生する可能性があります。このため、大雨等による事前通行規制区間が多いとともに、過去に幾度となく道路が被災しています。そのため、防災に対する県民の関心も高い状況です。

## 県民の声

【主要地方道 高崎神流秩父線】

- ・大雨の日は落石が怖いので安心して通れる道路整備を望みます。
- ・工事により道路が安全になって、より多くの観光客が来てもらえたら嬉しいです。
- ・安全に通れるよう早急に修復してほしい。

【一般県道 後閑羽場線（月夜野橋）】

- ・安全に通れるよう早急に修復してほしい。

※周辺住民からの聞き取りによる。

## 課題

異常気象や震災時でも通行を確保する、信頼性の高い道路整備を推進する必要があります。

## 目的

道路防災総点検の要対策箇所や老朽橋などへの防災対策並びに地域の防災機能・道路の安全性を向上させる関連事業により、異常気象や震災に強い地域づくりを目指します。

## 事業の指標

### 指標1 解消された自然災害による通行危険箇所数

$\Sigma$ （防災対策の実施により、道路防災総点検の要対策箇所※が解消された箇所数）（単位：箇所）

※要対策箇所とは…沿道に土砂崩れや法面崩壊などの危険があり、何らかの対策が必要とされている箇所

### 指標2 防災対策により防災機能が向上する市町村数

$\Sigma$ （要対策箇所や老朽橋、耐震性が低い橋梁などへの防災対策を実施し、防災機能が強化された市町村数）（単位：市町村数）

## 成果と達成度報告

要対策箇所※が**40箇所減り**、より安全になりました！

**23市町村**で防災への取り組みが行われました！

### 指標1：道路防災総点検の要対策箇所が解消された箇所数

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)		410箇所	
中間値(H22末)	417箇所	425箇所	当初値より15箇所増加
目標値(H24末)	437箇所	<b>450箇所</b>	<b>当初値より40箇所増加</b>

### 指標2：防災機能が強化された市町村数

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)			
中間値(H22末)	10市町村	18市町村	18市町村の防災機能が強化
目標値(H24末)	12市町村	<b>23市町村</b>	<b>23市町村の防災機能が強化</b>

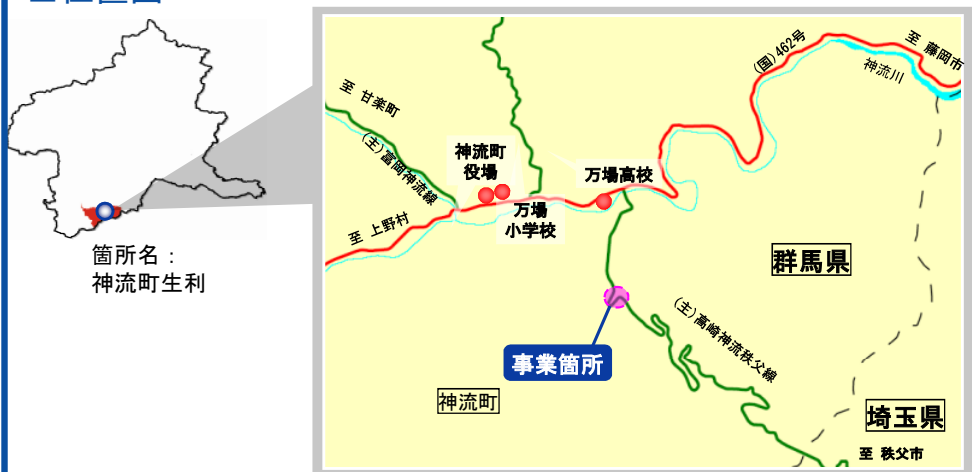
課題と成果

整備の事例

### 整備効果事例

#### 事例① 主要地方道 高崎神流秩父線 道路災害防除

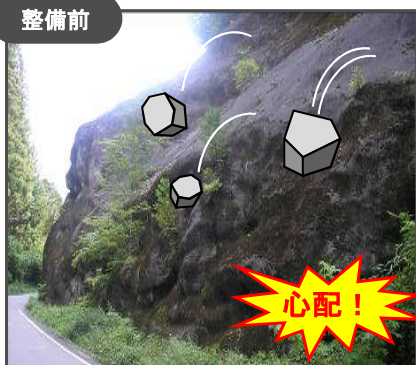
##### ■位置図



箇所名：  
神流町生利

##### ■整備効果

###### 整備前



切り立った斜面にひび割れもあり  
いつ崩れるか心配...

###### 整備後



斜面が補強され、安全な通行が確保された

#### 事例② 一般県道 後閑羽場線（月夜野橋） 橋梁補修

##### ■位置図

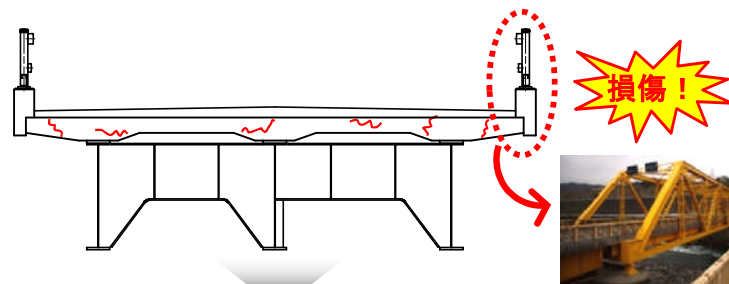


箇所名：  
みなかみ町後閑

##### ■整備効果

###### 整備前

◆老朽化が進んでいるので、損傷を放置すれば通行止めの可能性もあります。



###### 整備後

◆安全に通行できるようになりました。  
◆橋を長持ちさせることができます。

